



コロナ禍の中「収入」が増えるのはどんな人「アデコ」「マイナビ」「ビースタイル」の調査によると



コロナ禍で職を失い苦境に陥る人たちが目立つ中、いくつかの調査では、転職で収入を増やす人が多く、人手不足を背景にアルバイトやパートの時給が上昇するなどの現象が生じている。

もちろん「2022年の家計は苦しくなりそう」と予想する人が数多いのも事実で、まだら模様を呈している状況だ。調査の中身を見てみると…。

半数近くが転職後に給与アップ

人材派遣や人材紹介などを手がけるアデコ（東京都千代田区）は、全国の20代から40代までの正社員3951人を対象にコロナ禍の転職（2020年4月以降に行った転職活動）に関する調査を実施した。

この結果、コロナ禍の中、転職した1200人のうち、45.1%が転職後に給与や報酬が増え、21.6%が変わらなかったと回答しており、合わせて7割近くが転職先で前職以上か、同等の給与や報酬を得ていたことが分かった。

3951人のうち54.9%にあたる2169人が、2020年4月以降に転職活動を行い、このうち91.7%に当たる1989人が実際に転職した。さらにこのうちの20代、30代、40代の男女200人をランダムに抽出した1200人を対象に調査した。

1200人のうち、転職を決めた背景に新型コロナの影響があったと回答したのは33.4%で、半数以上の51.8%は、新型コロナの影響はなかったと回答。また、転職した理由は「勤務先の将来性に不安があった」が最も多く、全体の35.3%に達した。

平均時給はさらに上昇も

アルバイト・パート求人サイトなどを運営するマイナビ（東京都千代田区）は、アルバイト募集時の平均時給データを公表しており、直近の2021年11月の全国平均時給は1139円で、前月（1137円）、前年同月（1122円）よりも増加した。

前年同月比は2021年5月以降7カ月連続で増加しており、同期間の前月比では9月を除き、7カ月中6カ月で増加した。

11月の求人情数は前月比、前年同月比ともに増加しており、特に飲食、フードの求人情数（前月比約1.2倍、前年同月比1.6倍）の伸びが大きく、平均時給も前月に続き過去最高額を更新した。

マイナビによると「例年年末にかけて飲食店の人材獲得の需要が伸びるため飲食、フードの平均時給はさらに上昇することが考えられる」としている。

夫の副業に期待

一方、人材派遣や人材紹介などを手がけるビースタイルホールディングス（東京都新宿区）が、就労志

向の主婦・主夫層を対象に行った「家計と収入の増やし方」のアンケート（有効回答数は520件）では、2022年の家計に「ゆとりができそう」と答えたのは10.2%にとどまり、「苦しくなりそう」が50.2%に達した。

苦しくなりそうと答えた人の理由では「コロナで解雇された」「旅行業のため給与やボーナスの減額が続いている」「時短で給料が減った」といったコロナ関連ものが少なくなかった。

一方、ゆとりができそうと答えた人の理由には「夫の副業に期待」「高収入の仕事に就けた」「コロナで無駄を排除することができるようになった」などがあつた。

また収入を増やす方法を尋ねたところ「ポイントを貯める」が41.9%で最も多く、「副業」の41.2%、「中古品などを売る」の36.9%の順となった。

文：M&A Online編集部